

平成23年度住宅・建築関連先導技術開発助成事業

「薄型ALCパネルのプレカットシステムに関する技術開発」

- ・旭化成エクステック株式会社 (代表取締役社長 金原 壮太)
- •旭光商運株式会社 (代表取締役 曽我 一成)

Asahi **KASEI**

技術開発の概要

- 1 -Asahi**KASEI**

【デリバリ一部門】 【工事管理部門】 【技能工】 【輸送部門】 図面入手 【運送に関する技術開発】 割付図作成 採寸図作成 現場採寸 ①材料品質を損なわずに運 搬する技術の確立(21年度) 積算•発注 加工図作成 プレカット加工 ②効率的なデリバリーシステ ムの確立(21年度) 材料搬入(加工場) 部品図(自動作成) ナンバリング ※現場加工の場合は材料 を現場搬入し残材引上げ 専用パレット積込 搬入パレット選定 する 【図面作成のシステム化】 **(** プレカットハペネル配置① 現場搬入① ①市販ソフトのカスタマイズによる図面作成シス 2面+予備版 テムの開発(21-22年度) プレカットハペネル取付① ②採寸図の精度向上による加工図作成の効率 現場搬入②:2面 化と部品図作成(23年度) プレカットハペネル配置② 【施工・加工に関する技術開発】 パレット・隙間材回収① プレカットハペネル取付② ①現場施工の場合と同程度の人工数でできる施 現場搬入③ 工技術の確立(21・22・23年度) プレカットハペネル配置③ ②加工作業の分離独立の検討(23年度) ベランダ・車庫等 プレカットハペネル取付③ ③切断加工時に発生する半端材を分別保管し再 パレット・隙間材回収② 利用率を高める(21・22・23年度)

④加工機の活用(21年度)

成果と課題(1)

(1)施工に関する技術開発

- ■現場施工と同程度の人工数でできる施工技術の確立
 - •施工要領とそのポイントの整理

(21年度)

- ・作業内容の詳細分析による作業効率化(22・23年度)
- ・作業マニュアルの作成と技能者育成 (23年度)
- ■図面作成のシステム化
 - •市販ソフトのカスタマイズによる図面作成システムの開発

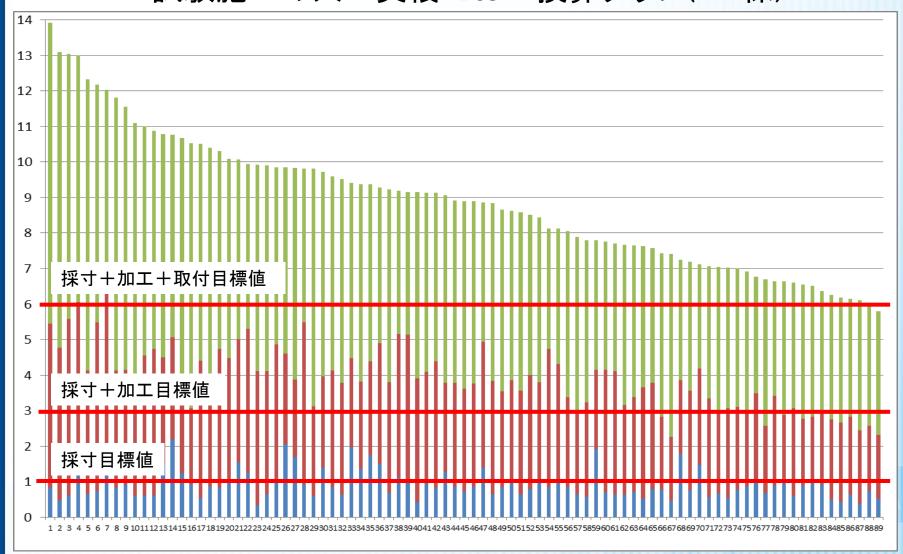
(21・22年度)

・採寸図の精度向上による加工図作成の効率化

(22-23年度)

- ■加工作業の分離独立の検討
 - ・部品図活用による作業効率化の検討 (23年度)

試験施工の人工実績:165㎡換算グラフ(89棟)

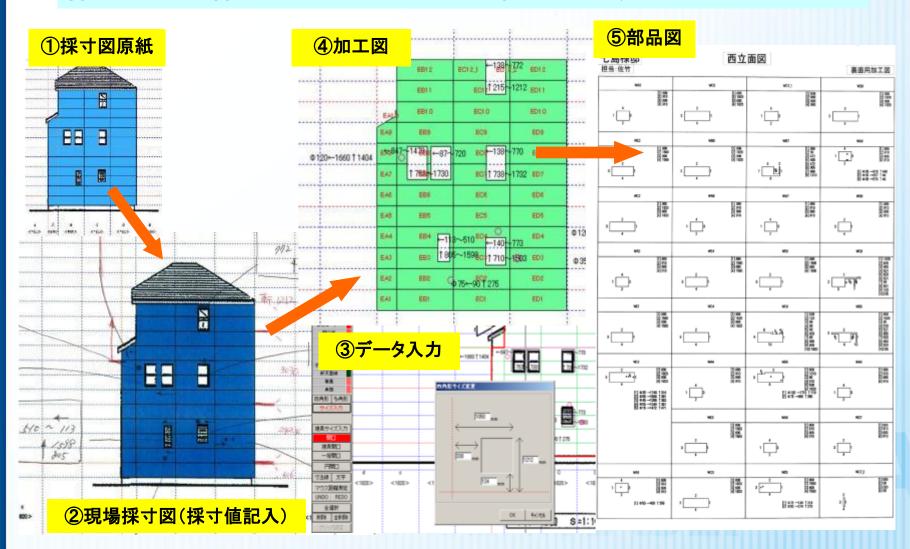


作業分析とノウハウの抽出AsahiKASEI



図面作成のシステム化 AsahiKASEI

市販の割付ソフトをカスタマイズした。 採寸図作成→採寸データ入力→加工図と部品図が自動的に作成される。



成果と課題(2)

(2)運送に関する技術開発

- ■材料品質を損なわずに運搬する技術の確立(21年度)
- ■効率的なデリバリーシステムの確立 (21年度)
- ※22年度以降は施工に関する技術開発と一体で実施



山の作り方の確認



荷積み・荷降ろしの安全性確認



荷の固定方法の確認

(3)加工に関する技術開発

- 切断加工時に発生する半端材を分別保管し再利用率 を高める
 - ・ラックによる分別保管の検討(21年度)
 - -コーナー材への活用(21-22年度)
- ■加工機の活用(21-22年度)
 - ・加工機の設計、製作(21年度)
 - -加工機活用本格開始(22年度)













加工機保管ラック

コーナー材

■技術開発の成果をまとめる

(23年度)

- ・施工、運送、加工に関するマニュアルを作成
- ・図面作成システムに関するマニュアルを作成
- •「プレカットシステム」として開発成果をパッケージ化する
- ■旭化成建材の材料販売網に水平展開する(24年度~)
 - 「プレカットシステム」についての内容確認
 - ・販売施工店への説明
 - プレカットシステム導入をフォローする

